

1. 課題名 : 北陸地区における包括的薬剤耐性菌サーベイランスと伝播様式の解析		
2. 医学研究又は医療行為の実施者		
代表者名 : 飯沼 由嗣 分担者名 : 馬場 尚志	所 属 臨床感染症学 臨床感染症学	職 名 教 授 准教授
3. 医学研究又は医療行為の概要		
<p>薬剤耐性菌の拡散防止は、世界共通の重要課題である。地域全体での効果的な感染制御体制を構築するには、薬剤耐性菌の分離状況、伝播様式を把握することが必要となる。本研究では、北陸地区の基幹医療施設の臨床検査室から、分離菌の薬剤感受性データを集積し、あわせて薬剤耐性菌株および臨床情報を収集する。集めた菌株は、薬剤耐性遺伝子の確認を行い、各耐性菌の正確な分離状況を明らかにする。さらに、病原因子の有無や遺伝的相同性を解析し、臨床背景も総合することにより、薬剤耐性菌分離のリスク因子および伝播様式を明らかにする。</p> <p>※審査対象となる実施計画書又は公表予定原稿等があれば別に添付すること</p>		
4. 実施場所・日程等		
<p>研究参加施設から、薬剤感受性データ、菌株、臨床情報を金沢医科大学臨床感染症学に収集する。薬剤耐性遺伝子、病原因子、遺伝的相同性の解析は、主に金沢医科大学臨床感染症学で行う。</p> <p>調査は2011年より開始し2013年まで行う。薬剤感受性データは1年毎に、菌株および臨床情報は3-6ヶ月毎に収集する。</p> <p>研究結果は、国際的欧文雑誌、国際学会、査読のある国内雑誌、全国レベルの国内学会において公表する。</p>		

5. 倫理的・社会的配慮について
<p>検体番号と氏名・患者IDとの対応表を用いた連結可能秘匿化を行い、薬剤感受性データ、臨床情報、菌株は、個人が特定されないよう検体番号のみを記入し、収集・解析する。対応表および菌株、菌遺伝子は、施錠できる場所に、臨床背景、各解析結果のデータは、パスワードに設定したコンピューターファイルにそれぞれ異なる部屋で厳重に保管する。研究成果の公表時には、個人が同定されることはない。個人情報、本研究のみに使用し、その他には使用しない。</p>